

2025 年度公益社団法人乙訓青年会議所

人財育成委員会 基本方針

人財育成委員会 委員長 騎馬 淳士

委員会
設置背景

近年、個人主義の広がりや価値観の多様化が、共同体や社会のために行動するという意識を薄れさせています。また、インターネットや SNS の普及が表面的な人間関係を増長させ、匿名性のもとで無責任な行動を増加させています。その結果、社会的な役割に向き合う人が少なくなってしまいます。乙訓地域においても、転入人口の増加やインターネットの普及による地域コミュニティの弱体化に伴い、地域内のつながりは薄れ、地域社会に対しての役割を果たす人財が不足していく恐れがあります。地域社会やコミュニティの中において、求められる期待に応えることで、自分の行動が他者や社会に与える影響を常に意識できるようになります。そのために、多種多様な時代や価値観にも対応し、社会的つながりを波及することができる、利他的な人財があふれる社会を創造する必要があります。

委員会
設置目的

役割を果たせる人財の育成を目的とします。

委員会
概要

1. 4 月メモリアル 100%出席例会の開催

乙訓青年会議所はこれまで様々な運動を展開し、地域の発展に寄与してきた中、今後も地域社会を牽引していく必要があり、地域により良い影響を与える組織へと発展するために、先輩諸兄姉と共に創立をお祝いし、歴史を振り返ることで、組織の社会的な役割の重要性を再認識します。

2. 7 月例会の開催

価値観が多様化し、判断基準が不透明になっている中、乙訓青年会議所の活動が与える影響を常に意識する必要があり、責任感向上のために、会員の役割を説明し、共同体や社会のために共に活動することの必要性を認識することで、利他の心を醸成します。

3. 卒業式・忘年会の開催

卒業式

乙訓青年会議所はこれまで、多くの方が自身の役割を果たし、組織として様々な運動を展開してきた中、今後も地域社会により良い影響を与え続ける必要があり、組織が持続的に発展していくために、卒業生に感謝と敬意を表すると共に、その想いを引き継ぐことで、次年度以降の組織の活力を高めます。

忘年会

会員がそれぞれの役割を果たし、組織として様々な運動が引き継がれてきた中、さらなる乙訓青年会議所の発展が必要であり、次年度以降の活動意欲向上のために、懇親を深める機会を創出し、1 年間の活動を振り返ることで、活動への想いを次年度へと引き継ぎます。

4. 3LOM 合同交流会の実施

個人主義の広がりにより共同体や社会のために行動するよりも、個人の権利や自由が重視される中、青年会議所活動を通じた地域社会における協力や助け合いを促進させる必要があり、社会的なつながりを再認識するために、近隣の青年会議所との交流を図り、同じ志をもった仲間との輪を拓けることで、青年会議所のもつ連携体制を再確認します。

5. 次世代育成事業の開催(年 5 回)

社会的なつながりが希薄化する中であっても、未来を担う子供たちが今後、多種多様な時代や価値観に対応する必要があり、人のため・まちのために行動する人財を育成するために、他者と

	<p>の交流を通じ、社会的なつながりや役割を果たす責任感に対する理解を深めることで、人を思いやる行動の大切さを認識します。</p>
<p>委員会 活動方針</p>	<p>地域社会と組織の未来は、私たち一人ひとりの手にかかっています。責任感を持ち、役割を果たすことで、組織内で信頼関係が生まれ、お互いを尊重し、地域においても協力や助け合いができ、明るい未来を切り拓くことができます。その想いをまずは委員会メンバー全員で共有し、そして組織全体へと波及させ、周りからの期待に応えられる委員会運営を行ってまいります。</p>
<p>委員会 スローガン</p>	<p>一致団結 ～人と人が思い合う未来を創造しよう～</p>